

2025年8月20日

独立行政法人 国際協力機構（JICA）が発行する
「アフリカ・TICAD ボンド（サステナビリティボンド）」への投資について

相模原市は、このたび、独立行政法人国際協力機構（理事長：田中明彦、以下「JICA」）が発行する「アフリカ・TICAD ボンド（サステナビリティボンド）」への投資を決定しましたので、お知らせします。

JICAは開発途上国の持続的な社会経済発展を支援する政府開発援助（ODA）の一元的な実施機関です。

JICAが発行する債券（JICA債）によって調達された資金は、全額がJICAの実施する有償資金協力事業に充てられます。今回の「アフリカ・TICADボンド（サステナビリティボンド）」は、2025年8月に横浜において開催された第9回アフリカ開発会議（TICAD9）を契機として発行されたもので、アフリカ向け新規または承諾済みの有償資金協力事業に活用されます。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の用途が、環境改善効果があること（グリーン性）及び、社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。JICAのサステナビリティボンドは、独立した第三者機関であるMoody'sより、国際資本市場協会（International Capital Market Association: ICMA）が定義するサステナビリティボンドの特性に従った債券である旨のセカンドパーティーオピニオンを付与されています。尚、石炭を燃料とする発電所施設の新設・改修等に関する事業への出融資は、JICAのサステナビリティボンドの資金用途から除外されています。

今後も適切なリスク管理のもとで、同様の投資を継続的に実施していき、収益性の確保のみならず、社会的使命・役割を十分に実施して参ります。

<本債券の概要>

債券名	第83 国際協力機構債券
年限	3年（2028年6月20日償還）
発行総額	150億円
利率	0.923%